

2026 年度 人文学部 日本・東アジア文化学科
総合型選抜入学試験【語学力・文化理解力重視方式】 【テーマ追究方式】
外国高等学校卒業生及び帰国生徒対象入学試験、編入学・転入学試験

「外国語問題と日本語小論文」出題の意図及び模範解答

◆ 「かたまりとしての思考」と題された次の文章を読んで、後の問に答えよ。

外国語問題と日本語小論文

外国語問題と日本語小論文は、高校までに学んできた総合的な基礎力を問うことを目的としています。大学で学んでいくために必要な日本語能力、論理的な思考力、外国語を習得し活用する能力、文章を読んでその主旨を理解し、そこから自らの思考を紡ぎ出す力を測ります。

問一・問二は漢字問題で、日本語能力の基礎の一つである標準的な漢字の読み書き能力を問うています。

問三・問四は英語問題で、基本的な語彙と簡単な文の作成能力を問うています。

問五は部分論旨の問題で、抽象的な表現が、本文中のどの表現を言い換えたものであるのかを読みとる力をはかっています。

問六は課題文型小論文で、本文の内容を的確に読みとった上で、自分自身に引きつけて考え、論理的に自身の考えを記述できるのかを問うものです。

模範解答

問一 あ ゆうれつ い くし う きょうち え すじみち お しぼ

問二 ア 一環 イ 唯一 ウ 素直 エ 懸命 オ 勘違

問三 A deny B idea

問四

People can't think of nothing.

問五

絵が、それを描いた人が自分自身を表現した唯一無二のものであるとすれば、その人以外が教えたり評価したりすることはできないはずであり、その人物の存在自体がよいか悪いかと判断できない以上、優劣をつけることはできないから。

問六

【出題意図】を参照